

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

② 繊維産業販路拡大支援

- ・繊維事業者がアパレルメーカーと商談機会を持ち、販路拡大できる環境整備のため、繊維事業者とアパレルメーカーとをつなぐプラットフォーム（EC サイト）の構築を進めた。
- ・繊維産業におけるSDGs対応の新技术、新製品を開発することを目的に、福井の企業が連携する研究会を開催した。



⑩ 在来種そば PR

- ・そば処としての圏域の魅力を高めるため、圏域内で栽培されている在来種そばについて産地PRなどに連携して取り組んだ。

(PRの内容)

- ◇在来種そばPRポスター作成、配布
- ◇Instagramキャンペーン実施
- ◇PR動画発信



⑭ ふくいプロモーション

- ・嶺北エリア全体として最適な観光戦略を実践していくため、嶺北エリアの情報（食・体験・観光ガイド・まち歩きコース・二次交通等）をワンストップで取得できるポータルサイトを構築した。

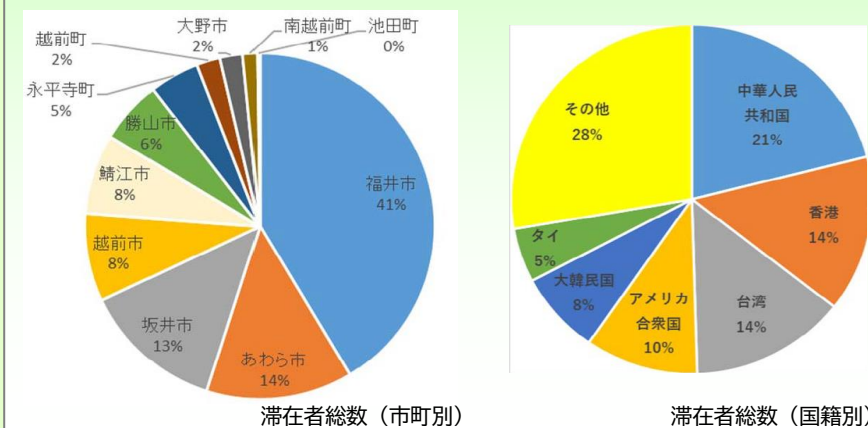


⑫ 観光動態調査

訪日外国人の観光動態調査について、その結果をレポートとしてとりまとめ、ワーキングにおいて情報共有を行った。

<主な調査結果>

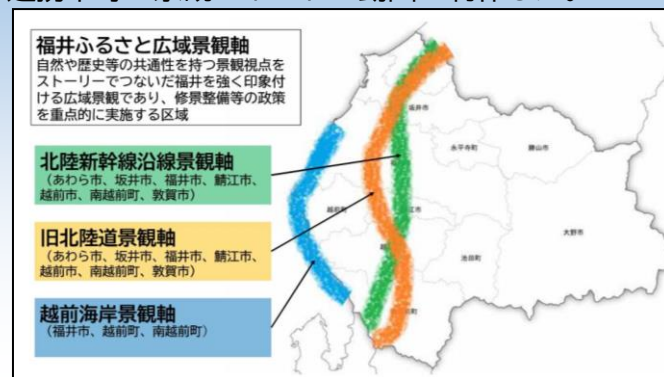
- 滞在者数は福井市を筆頭に、あわら市、坂井市への滞在が多い（続いて越前市・鯖江市）。また、滞在者の滞在目的（観光／ビジネス）の割合は、他都市訪問先や、滞在日数の傾向、各市町の観光スポット等からも、それぞれ異なる。
- 滞在者の国籍は、中国、台湾、香港を筆頭としたアジア系の割合が多く、欧米は少ない。
- ※香港人・台湾人はあわら温泉等観光目的の滞在が多く、中国人・アメリカ人は、ビジネス目的の割合も比較的多い、と考えられる。



(2) 高次の都市機能の集積・強化

⑫ 福井ふるさと広域景観形成

北陸新幹線福井開業をひかえ、観光誘客に向けた景観資源のPRのため、連携市町の景観スポットの動画を制作した。



(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

⑳ 成年後見制度利用促進体制整備

成年後見制度利用促進体を整備するため、連携協議会を設置し、制度の広報や相談を担う広域的な中核機関の開設（令和4年度）に向け、協議を進めた。



㉘ 情報システム広域連携調査研究

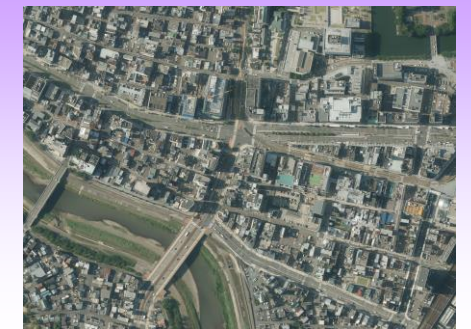
- ・業務プロセスの自動化により省力化が図られるRPA※の導入について、共同研究を進めた。
- ・大容量ファイルの転送・共有サービスの共同調達により、費用の低減を図りつつ、情報セキュリティの強化、事務の効率化を図った。

※RPA…人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替する仕組み



㉙ 広域航空写真地図データ整備

広域の航空写真地図データについて、連携中枢都市圏のスケールメリットを活かし、共同で撮影を行った。



オンラインによる研修会等の開催

- ・新型コロナウイルス感染症により、集客イベントや、研修会・交流会などの行事、また、首都圏など感染が拡大している地域への出張を伴う事業については、開催を見送らざるを得なかったが、そのような中であっても、オンラインの活用などにより、3密を回避した上で事業を進めた。

例) ④事業承継セミナー…オンライン研修会として開催 ⑪広域観光周遊ルート形成…おもてなし講習会をオンライン開催 ⑬広域観光情報発信…大阪・名古屋での商談会をオンライン開催 など